

Newsletter

vol. **6**
2023. 6

「個が輝く」大学へ

京田辺校地
スポーツ・
コンプレックス
建設

今出川校地
新図書館
建設

皆様からのご支援をお願いいたします。

平素は同志社大学の教育研究に対するご理解とご協力、ならびに学生へのご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
これまでに温かいご支援を賜りました皆様、またコロナ禍の影響等から経済的に困窮した学生へのご支援を
賜りました皆様におかれましては心より御礼申し上げます。

本募金事業の寄付メニューにもある「今出川校地新図書館」ならびに「スポーツ・コンプレックス(京田辺)」の
イメージ図もお示しできるまでに至りました。

いよいよ150周年まで残り3年となりました。重ねてのお願いとなり恐縮ですが、引き続き、より一層のご支援
をお願い申し上げます。

大学の取組みとご寄付の活用実績

リーダー養成プログラム運営支援

2,079万円を寄付金から活用



「リーダー養成プログラム運営支援」としていただいたご寄付は、学部・研究科の優れた取組みを支援し、本学の教育研究力の向上に役立てる「ALL DOSHISHA教育推進プログラム」や読書を学びの根幹にリーダーシップとフォロワーシップを併せ持つ人物を養成する「同志社大学新島塾」に活用しました。ご支援の一部は、新島塾の学外フィールドワークや合宿形式の集中講義といった特色ある取組みに充てました。とりわけ学外フィールドワークの様子は、同志社校友会熊本県支部の全面的な支援を得て、現地テレビ局のニュースでも報道されました。また、校友の佐藤 優氏、澤田 瞳子氏をはじめ著名な卒業生やそのネットワークを活かして各界のリーダーに講義いただく機会にも恵まれました。これらは、ひとえに校友の皆様による温かいご支援の賜物です。新島塾の修了生たちは、大学院進学、名だたる企業、官公庁、教員と実に多様な進路を選択し、新たな一歩を踏み出しています。これからも他者に寄り添いつつ組織を最善の方向に導くことができる次代のリーダーを社会に輩出します。

詳しくはこちら

<https://next.doshisha.ac.jp/>



グローバル化の促進支援

183万円を寄付金から活用



2022年度、EUキャンパスではチュービンゲン大学と連携して、3年ぶりとなるドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム（2022年3月～2022年8月）が実施されました。また、秋学期はヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム（2022年9月～2023年1月）を初めて現地で実施し、コロナ禍においても年間を通じた海外教育プログラムを無事に展開することができました。春学期・秋学期と合わせて29名の学生がEUキャンパスプログラムに参加し、多様な文化や価値観に触れることで、現地でしか得られない有意義な学びを体験できる機会となりました。これらの事業に「グローバル化の促進支援」として受け入れたご寄付を活用いたしました。

さらに、今後も同志社創立150周年に向けて、米国・EU・アジアという3つの地域の多様性を考慮し、アーモスト大学、チュービンゲン大学とのより一層の連携を軸に「『国際主義』の更なる深化」を目指し、真のグローバルマインドを持つ人物の育成に引き続き取り組んでまいります。

特定寄付奨学金（経済困窮学生への支援）

4,009万円を寄付金から給付



2022年度は182名の学生に対し、返還の必要がない奨学金を給付いたしました。

コロナ禍の影響等により経済的に困窮した学生への支援をお願いし、4,009万円のご寄付をいただきました。これを原資の一部として、学生に奨学金を給付することができました。ご支援に対し、心より御礼申し上げます。引き続き、経済困窮学生に対するご支援をお願いいたします。

育英型奨学金 (学業や課外活動で成果を収めた学生への支援) ——— 10名 に対して寄付金より給付

2022年度は優秀な学業成績を修めた学生や、課外活動や社会活動等で活躍した学生など100名を同志社大学育英賞として表彰し、それぞれに同志社大学育英奨学金を給付しました。

この「同志社大学育英奨学金」の原資の一部に、「育英型奨学金」として受け入れたご寄付を活用させていただきました。「育英型奨学金」では一定額以上のご寄付の場合に、「冠奨学金」として企業・団体名称を冠した奨学金を給付しています。

<2022年度の冠奨学金給付実績>

①株式会社プリントパック奨学金

②TOYO TIRE株式会社奨学金

として、それぞれ5名への支援を行いました。

課外活動支援 ——— 4,076万 円を寄付金から活用



「スポーツ活動充実資金」「文化系公認団体活動充実資金」では課外活動の充実のため、団体を指定したご支援が可能です。寄付金は、指定したクラブやサークルの活動費として、指導者等への謝金や活動に必要な用具および備品の購入、また遠征費などに使用させていただきました。

■2022年度のスポーツ活動充実資金 / 文化系公認団体活動充実資金 活用実績

クラブ名	用途	支出額	クラブ名	用途	支出額
アメリカンフットボール部	備品・用品購入等、修繕費、指導謝礼等	583万円	準硬式野球部	備品・用品購入等、修繕費	53万円
バレーボール部	消耗品、備品・用品購入等、遠征費、指導謝礼等	462万円	少林寺拳法部	指導謝礼等	46万円
ヨット部	備品・用品購入等	342万円	弓道部	遠征費	44万円
馬術部	飼料購入	329万円	ワンダーフォーゲル部	備品・用品購入等	43万円
グリークラブ	旅費、施設使用料、指導謝礼	302万円	陸上ホッケー部	備品・用品購入等	32万円
フェンシング部	遠征費、指導謝礼等	280万円	ボクシング部	備品・用品購入等	23万円
ゴルフ部	遠征費、試合参加費、指導謝礼等	263万円	日本拳法部	備品・用品購入等	23万円
バドミントン部	備品・用品購入等、遠征費	166万円	バスケットボール部	指導謝礼等	22万円
サッカー部	指導謝礼等	147万円	書道部	備品・用品購入等	19万円
テニス部	消耗品・備品・用品購入等	119万円	剣道部	備品・用品購入等	17万円
空手道部	指導謝礼等	100万円	スキー部	指導謝礼等	11万円
相撲部	遠征費、備品・用品購入等、指導謝礼等	95万円	ソフトボール部	備品・用品購入等	8万円
卓球部	遠征費、指導謝礼等	91万円	居合道部	施設使用料	7万円
アーチェリー部	備品・用品購入等	86万円	硬式野球部	備品・用品購入等	7万円
ボート部	修繕費	78万円	レスリング部	備品・用品購入等	5万円
山岳部	備品・用品購入等	76万円	ボードセーリング部	備品・用品購入等	2万円
文科系公認団体 (指定なし)	備品・用品購入等	72万円	地学研究会	備品・用品購入等	1万円
体操競技部	備品・用品購入等	69万円	合計		4,076万円
柔道部	遠征費	53万円			

不透明な時代の魁となる 良心に満ちた人物の輩出を

今出川校地
新図書館建設



詳しくはこちら▼

<https://library.doshisha.ac.jp/guide/newlib.html>



今出川校地新図書館建設について

1973年12月の竣工以来、およそ50年にわたって多くの皆様にご利用いただいております今出川図書館は、施設・設備の老朽化が進み、耐震化への対応やバリアフリー等ダイバーシティへの対応が充分ではないこと、また、書庫狭小化等の課題も有しています。

このたび、今出川図書館は、より充実した学習・研究の場を提供するため、2023年8月上旬から2026年3月末にかけて図書館を閉館し、同志社創立150周年記念事業（大学建設事業）として建替を行うことになりました。

詳細なスケジュールその他については、随時ホームページにてお知らせいたしますので、ご覧ください。

同志社創立150周年記念事業（大学建設事業）のシンボルとして、今出川校地に新図書館、京田辺校地にスポーツ・コンプレックスの建設準備を進めています。

「大学の完成には200年」と答えた新島襄は、募金活動の途中で志半ばで病に倒れてしまいましたが、この“志”を先人たちが脈々と受け継いできました。創立150年まで残り約3年となった今、先人たちから受け継いだ“志”を、次代へ引き継いでいくために皆様のご支援をお願いいたします。

皆様の
ご支援をお願い
申し上げます

京田辺校地
スポーツ・コンプレックス建設



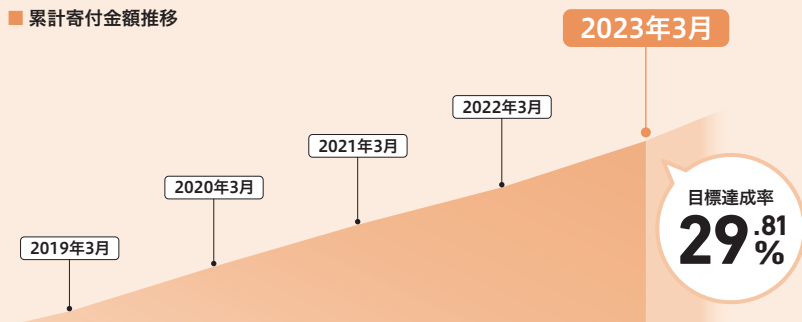
これまでの寄付受入実績のご報告（2017年10月～2023年3月）

■ 寄付受入総金額

1,490,296,038円

目標額
2025年度末までに 50億円

■ 累計寄付金額推移



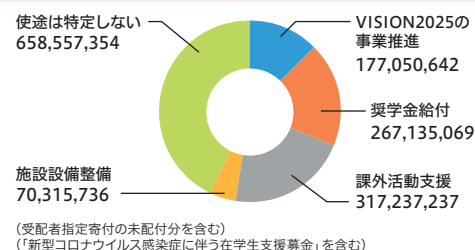
2023年3月

目標達成率
29.81%

■ 属性別の寄付受入実績

	寄付件数	寄付者の実数	寄付金額 (円)
個人	21,302	7,170	891,327,650
法人・団体	833	453	598,968,388
合計	22,135	7,623	1,490,296,038

■ 募金種類別の寄付受入実績



同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金

ご協力をお願い

本学では、創立150周年を迎える2025年に向けた「同志社大学ビジョン2025」において優先的課題を掲げ、順次着手しているところです。これからも、同志社大学が輝き続けるために、ALL DOSHISHA でビジョンを推進し、教育の質を高め、社会に有為な人物を養成・輩出する使命を果たしてまいります。

中長期ビジョン推進のために、2017年10月より立ち上げました「同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金」では、既に多くの皆様方からのご協力を賜り感謝申し上げます。

本募金事業では、引き続きビジョン推進はもとより、経常的な取組みである奨学金給付や課外活動支援、施設設備整備に対する募金活動を行い、学生の支援を行ってまいります。本学の教育理念と募金事業にご理解をいただき、より一層の温かいご支援ならびに継続的なご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



学校法人 同志社
総長・理事長 八田 英二



同志社大学
学長 植木 朝子

▼ 次の10種類の中からご寄付の対象事業をご選択ください。

■ VISION 2025の事業推進

リーダー養成プログラム運営支援

「同志社大学新島塾」や「アドバンスト・リベラルアーツ科目群」を展開し、グローバル社会に通用するリーダーシップを養成する教育プログラムを一層推進してまいります。

グローバル化の促進支援

同志社大学チュービンゲンEUキャンパス事業をはじめ、グローバル化時代への適応能力を高めるための支援事業を強化し、多文化共生を実践できる国際色豊かなダイバーシティキャンパスの実現を推進します。

高大接続プログラムの展開支援

法人内諸学校をはじめ同志社大学の教育理念に共感する高等学校、特色ある活動に取り組んでいる高等学校などとの連携によって高校生の大学科目履修などのプログラムを戦略的に展開していき、意欲ある学生の獲得に繋がります。

■ 奨学金給付

特定寄付奨学金(経済困窮学生への支援)

新型コロナウイルスが5類感染症へ移行した後も残る家計への影響をはじめ、様々な事由により学費の支弁が困難な学生へ奨学金を給付いたします。

育英型奨学金(学業や課外活動で成果を収めた学生への支援)

学業や社会活動、課外活動等様々な分野での積極的な取組みが期待される学生へ「人物養成」のための奨学金を給付いたします。

■ 課外活動支援

スポーツ活動充実資金

文化系公認団体活動充実資金

スポーツ活動充実資金は、体育会のクラブおよびスポーツブロック公認団体への支援、文化系公認団体活動充実資金では、文化系公認団体への支援が可能です。寄付金は指導者への謝金や遠征費用、用具および備品の購入費用等として、大学管理のもとに使用します。

■ 施設設備整備

今出川校地新図書館建設

教育研究に関する学術情報の体系的な収集、蓄積、提供という基本的機能を維持しながら学生の主体的な学びを支える場としてふさわしい図書館を建設します。

スポーツ・コンプレックス建設(京田辺)

一つの建物に複数の室内競技場等を併設した複合多目的スポーツ施設の建設により、競技力の向上はもちろんのこと、学生の正課教育および正課外活動を充実させ、教職員・卒業生・地域住民すべての健康維持・向上に貢献します。

■ 使途は特定しない

ご寄付のお申し込み方法について

個人によるご寄付

クレジットカード決済、銀行振込、口座振替等によるご寄付が可能です。全てALL DOSHISHA 募金サイトよりお申し込みいただけます。

法人によるご寄付

団体によるご寄付

募金課までご連絡ください。必要書類をお届けいたします。

海外からのご寄付

ALL DOSHISHA 募金サイトからクレジットカード決済、または銀行振込にてご寄付いただけます。また、米国の非営利法人「Give2Asia」を通じたご寄付も可能です。「Give2Asia」経由でご寄付いただいた場合、当該寄付金は米国税法上の所得控除の対象となります。

遺贈・相続財産によるご寄付

お手続きの流れや税制上の優遇措置についてはALL DOSHISHA 募金サイトをご覧ください。

■募集要項

募集期間：2017年10月1日～2026年3月31日

目標額：50億円

募集単位：個人1口1万円

法人・団体1口10万円

※1口あたりの金額を設定しておりますが、金額に関わらずありがたく頂戴いたします。

■税制上の優遇措置

個人：特定公益増進法人 または
税額控除対象法人による減税措置

法人・団体：特定公益増進法人 または
受配者指定寄付金制度による減免税措置

ALL DOSHISHA 募金サイト

ご寄付の申込・その他詳細はコチラから



VISION2025 特設サイト

<https://doshisha-vision2025.jp/>



税制上の優遇措置

詳細はALL DOSHISHA 募金サイトでご覧いただけます。

個人

所得税の「税額控除」または「所得控除」のいずれかを選択いただけます。

さらに、お住まいの地域（京都府・京都市・木津川市・大阪府・大阪市）によっては、住民税の「税額控除」の対象になります。

最大で約50%の寄付金控除を受けることができます。

参考 課税される年間所得金額500万円の方が10万円を寄付した場合

① 所得税の控除

確定申告

メリットが大きい方を選択

(1) 税額控除

寄付金額 限度額 控除率 減税額
(10万円 - 2千円) × 40% = 39,200円
所得税率に関係なく減税額は
直接所得税より控除(25%が上限) 税額控除額

OR

(2) 所得控除

寄付金額 限度額 所得税率 減税額
(10万円 - 2千円) × 20% = 19,600円
所得控除額 課税される年間所得に応じ、5～45%の所得税率
所得金額に応じた税率をかけて控除が決定

② 住民税の控除

お住まいの自治体により、2～10%の住民税控除率

寄付金額 限度額
(10万円 - 2千円) × 住民税控除率

法人

寄付金全額を損金算入できる「受配者指定寄付金」制度と、一般の寄付金の損金算入限度額とは別枠で一定額まで損金算入できる「特定公益増進法人に対する寄付金」制度があります。詳しくは募金課へお問い合わせください。

団体

所定の手続きにより個々の賛同者別に領収証を発行します。
この場合、個人としての税制上の優遇措置を受けることが可能です。

なお、団体に対する税制上の優遇措置はありません。

顕彰について

氏名・金額の公開希望に応じて、芳名録やホームページに掲載するほか、Newsletterの送付を行います。また、募集期間中の累計金額に応じて以下の通り顕彰を行います。

■個人 称号

基準となる金額(累計)	称号の種類
1000万円以上	終身栄誉篤志会員
500万円以上	栄誉篤志会員
300万円以上	名誉篤志会員
100万円以上	特別篤志会員

礼遇

基準となる金額(累計)	内容
10万円以上	良心館の寄付者銘板に芳名(プレート)を掲載
100万円以上	感謝状の贈呈・学長との感謝会に招待
300万円以上	アーモスト館への宿泊
500万円以上	french restaurant willでの食事と大文字観覧

その他

基準となる金額(累計)	内容
5万円以上	金額に応じて、オリジナルグッズを贈呈

■法人・団体

礼遇

基準となる金額(累計)	内容
10万円以上	良心館の寄付者銘板に芳名(プレート)を掲載
100万円以上	感謝状の贈呈

その他

企業名の冠称	奨学金やセミナー等に企業名を冠していただけます。 詳細については募金課までお問い合わせください。
--------	---

※入学した年の寄付金(入学が予定される年の年末までの期間内に納入したもの)については、「学校の入学に係る寄付金」とみなされ、寄付金控除の対象から除外されます。また、ご家族に本法人が設置する各学校(幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学)に入学または受験を予定されている方がおられます場合は、賜りました寄付金は寄付金控除の対象外となります。

※本募金事業(所得税・住民税控除の関連事項含む)に関する資料は文部科学省への報告が義務付けられております。また、地方自治体等から要請があった場合は、寄付者名簿を提出することになっていきますので、あらかじめご了承くださいませようお願いします。

❧ 創立150周年を機会に、大学に氏名を残しませんか？ ❧

募集期間内の累計で10万円以上のご寄付を賜りました場合、今出川キャンパス内に設置した寄付者銘板へ氏名を刻んだプレート掲げています。一度に高額なご寄付ではなくても、継続的にご寄付いただき10万円に到達された方もたくさんいらっしゃいます。大学に氏名を残せる機会です。ぜひご検討ください。



良心館1階の北側入口前に設置した「寄付者銘板」

贈呈品による顕彰として、寄付金額に応じてオリジナルグッズをお贈りしています。(以下、一例)



ALL DOSHISHA 募金サイト

<https://bokin.doshisha.ed.jp/2025alldoshisha/>

スマートフォン・タブレットからのご寄付も可能です



【お問い合わせ先】

 **同志社大学 学長室 募金課**

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 TEL: 075-251-3230 FAX: 075-251-3097
Email: ji-bokin@mail.doshisha.ac.jp

個人情報の取扱いについて

「個人情報の保護に関する法律」ならびに学校法人同志社「個人情報保護の基本方針」及び「同志社個人情報保護規程」に基づき、個人情報の適正な取扱いに努めてまいります。ご寄付の際に記載いただいた個人情報は、募金事業の目的に即し、芳名録の作成、領収証・顕彰品等の送付、事務上の諸手続きなどに使用させていただきます。